

中南米カリブ 省エネ・再生可能エネルギー事業II (Fund出資)

日本企業の低炭素技術を活用し、中南米カリブ地域の省エネ・再エネ普及推進へ更に貢献

事業概要

1号ファンドに引き続き、本ファンドへの出資を通じて、中南米カリブ地域を中心とする開発途上地域を対象とした省エネ事業・再生可能エネルギー事業への支援を行うことにより、当該地域の気候変動対策への寄与を拡大するもの。

インパクト

1. 気候変動対策の促進

中南米カリブ地域を中心とする開発途上地域の民間企業等による省エネ（商業施設・ホテル・中小規模工場等）や再生可能エネルギーの取組みを促進。

2. 日本の低炭素技術の活用の推進

中南米カリブ地域において先駆的な日本企業の有する耐久性及びエネルギー効率の高い技術が導入され、ショーウィンドウ効果を発揮し、同地域における日本企業の技術展開を促進。

3. 国際協調の取組み

米州開発銀行（IDB Lab）、欧州投資銀行（EIB）、オランダ金融開発公庫（FMO）、グローバル・エネルギー効率・再生可能エネルギー基金（GEEREF）等、国際機関・他開発機関等との協調による取組み。



1号ファンドの案件事例紹介

ホテル内の本邦企業の高効率空調施設



スーパー屋上のルーフトップソーラー

